

## 報告文 業務表彰受賞について

令和元年度北海道開発局優良工事等（業務）表彰において、2業務の局長表彰の受賞ならびに6業務の部長表彰を受賞しました。日頃ご愛顧いただいております関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

### ■北海道開発局優良工事等（業務）表彰 局長賞

『愛牛導水門詳細設計外業務（帯広開発建設部）』	管理技術者	佐藤 正規
『一般国道5号 七飯町 宿野辺橋詳細設計業務（函館開発建設部）』	管理技術者	塩原 龍法

### ■北海道開発局優良工事等（業務）表彰 部長賞

『天塩川上流 河川構造物調査設計業務（旭川開発建設部）』	管理技術者	河合 敦
『無加川河床低下対策検討外業務（網走開発建設部）』	管理技術者	濱木 道大
『室蘭開発建設部管内交通安全事業計画検討業務（室蘭開発建設部）』	管理技術者	石川 由憲
『留萌開発建設部管内 道路整備計画検討業務（留萌開発建設部）』	管理技術者	石川 由憲
『一般国道12号 美唄市 峰延道路施工計画検討業務（札幌開発建設部）』	管理技術者	宮古 智
『一般国道38号 帯広市 札内橋補修設計外一連業務（帯広開発建設部）』	管理技術者	鈴木 正良

## 編集後記

今年は、2月から新型コロナウイルスのパンデミックにより、私たちの暮らしや働き方に大きな影響を与えています。新型コロナウイルスの感染は、現在、ワクチンの実用化まで終息する見通しが立たない状況であり、まさにウィズ・コロナ、コロナ禍の時代になっております。建設業においては、マスク着用や消毒・手洗いなどの徹底のほか、在宅勤務やテレワーク、テレビ会議の導入・拡大に努めており、弊社においても時差出勤、テレワークの準備、Web会議など、さまざまなコロナ対策の取り組みを行ってきたところです。

このような状況下、今年もまた大きな災害が発生しています。7月4日には梅雨前線の影響により発生した線状降水帯により、九州を中心に甚大な被害が発生しました。とくに、熊本県・球磨川周辺の人吉市などで大規模な水害が発生し、多くの尊い人命が失われています。また、7月28日から29日の大雨により、山形県・最上川では57年振りの大規模水害が発生しました。このような災害から、人びとの安全・安心な暮らしのため、「国土強靱化」が急がれている状況です。

新型コロナウイルスによる経済不況、自然災害の頻発など、世の中は大変な状況ですが、弊社の動きとしては夢のある北広島市のボールパーク関連事業や、ストックマネジメントとして建物等の長寿命化計画に参画するほか、し尿処理場や鉄道撤去など広い分野に取り組んでおり、社会資本の整備を通じて地域社会の安全・安定に微力を尽くしております。また、平成25年11月の「インフラ長寿命化基本計画」により示された「国民生活や社会活動の基盤となるインフラの老朽化が、加速度的に進む。今後、国や地方公共団体等が一丸となってインフラの戦略的な維持管理・更新を進める」との強い危機感を以てして、平成28年度「公共施設等総合管理計画」、続いて「個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）」の策定を急いでいる昨今の状況を受け、弊社でも中期事業計画の策定にあたり「多様なニーズへの対応」として、地域のストックマネジメントに注力することで、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう取り組んでおります。

結びになりますが、弊社「ノート工営」は本年度第28号を発行する運びとなりました。

コロナ禍の中、社内外の行事が中止を余儀なくされており、予定通り発刊できるかどうか危ぶまれましたが、無事、発刊の運びとなり一安心といったところです。

これも一重に、発注機関関係者様のご理解とご協力のお蔭であり、改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。

（常務取締役・社内技術士会会長 野々村清隆）